

土 8

木

費 款

土 木 費

土木費の支出済額は、4,184,190,710円で、対前年度比3,297,394,200円、44.07パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は7.33パーセントです。

8 款 1 項 2 目 建築指導費

開発指導事業

(開発審査課)

決算事項別明細書 261 ページ

予 算 現 額		798,000 円	決 算 額		764,796 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		33,204 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	686,160 円		地 方 債	
	増 減 額	78,636 円		そ の 他	764,796 円
	増 減 率	11.46%		一 般 財 源	

<目的>

無秩序な市街化を防止し、良好な市街地の形成を図ります。

<内容>

開発事業者が行う開発行為等に対し、都市計画法や市条例等に基づき、審査、指導を行い適正な許認可事務などを行います。

<実績・成果等>

1 開発許可等

都市計画法に基づく開発許可等の受付、許可等の件数は次のとおりです。

区 分	受 付		許 可 等	
	件 数	面 積	件 数	面 積
開 発 許 可(法29条)	136 ^件	83,291 ^{m²}	116 ^件	73,555 ^{m²}
建 築 許 可(法43条)	33	5,134	32	4,907
適 合 証 明(規則60条)	201	272,225	202	273,954
合 計	370	360,650	350	352,416

※受付及び許可件数には、市の建築協議を含まず。

2 開発行為に関する協議及び指導

狭山市宅地等の開発に関する指導要綱に基づく事前協議の締結件数は、次のとおりです。

(1) 用途別事前協議の締結件数

区 分	専用住宅	共同住宅 ・長屋	店 舗	工場・倉庫	公益施設	その他	合 計
件 数	18 件	3 件	3 件	4 件	0 件	11 件	39 件

(2) 地区別事前協議の締結件数

区 分	入間川	入 曽	堀 兼	奥 富	柏 原	水 富	新狭山	狭山台	合 計
件 数	10件	5件	2件	2件	6件	9件	4件	1件	39件

3 開発行為等に伴う相談及び指導

開発行為等の書面による相談受付件数は、189 件です。

8 款 1 項 2 目 建築指導費

建築審査事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額		3,663,000 円	決 算 額		3,523,869 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		139,131 円		県 支 出 金	16,650 円
前 年 度 比 較	決 算 額	4,646,209 円		地 方 債	
	増 減 額	△1,122,340 円		そ の 他	3,221,090 円
	増 減 率	△24.16%		一 般 財 源	286,129 円

<目的>

建築基準法等の所掌法令に基づき、公共の福祉の増進に資することを目的とします。

<内容>

建築基準法、バリアフリー法、建築物省エネ法、屋外広告物法、建設リサイクル法、長期優良住宅法等の所掌法令に基づき、民間事業者等が行う各種計画等に対し、法令に基づき適切な指導や、助言を行うと共に申請に対する許認可事務を行います。

<実績・成果等>

1 建築基準法

(1) 建築確認等

建築確認(建築設備及び工作物を含む)等の主な受付件数は、次のとおりです。

区 分	建築確認		計画通知(国・県・市の建築物等)	
	申請受付	計画変更受付	申請受付	計画変更受付
件 数	48 ^件	2 ^件	7 ^件	0 ^件
区 分	許認可		検 査	
	建築許可受付	仮使用認定受付	中間検査受付	完了検査受付
件 数	7	0	0	34

(2) 道路位置指定

建築主等により築造された道を特定行政庁が建築基準法の道路として指定又は廃止した内訳は、次のとおりです。

区 分	受 付			指 定 通 知		
	件 数	延 長	面 積	件 数	延 長	面 積
指 定	2 ^件	37.76 ^m	162.79 ^{m²}	1 ^件	34.61 ^m	150.21 ^{m²}
廃 止	4	199.41	965.32	4	199.41	965.32

(3) 建築物等の定期報告

多くの人々が利用する集会所、病院、共同住宅、店舗等で一定規模以上の建築物、建築設備及び昇降機等の所有者(管理者)は、その安全性を保つために定期的に有資格者による状況調査(検査)を行い、その結果について特定行政庁への報告が義務付けられています。

本規定に基づく報告件数は、次のとおりです。

区 分	建 築 物	建 築 設 備	防 火 設 備	昇降機設備等	合 計
報告件数	93件	197件	88件	668件	1,046件

2 建設リサイクル法

特定建設資材(木材・コンクリート・アスファルト等)を用いた建築物等の解体工事、新築工事又は工作物に係る土木工事等で一定の規模を超えるものについては、建設リサイクル法に基づき分別解体・特定建設資材の再資源化及び事前の届出等を義務付けています。

本規定に基づく届出件数等は、次のとおりです。

区 分	届 出 (民間事業者)			通 知 (公共公益事業者)			合 計
種 別	建 築 物 の解体	建 築 物 の 新 築・増築・修 繕・模様替	その他工作 物に関する 工事	建 築 物 の解体	建 築 物 の 新 築・増築・修 繕・模様替	その他工作 物に関する 工事	
件 数	220件	25件	36件	1件	4件	50件	336件

3 屋外広告物法

良好な景観の形成と風致(自然のもつ美しさ)の維持及び公衆に対する危害の防止から、屋外で公衆に表示される広告板、広告塔等の広告物については、屋外広告物法及び埼玉県屋外広告物条例の規定に基づき規制を行っています。

本規定に基づく申請件数は、次のとおりです。

区 分	広 告 板	広 告 塔	電柱等利用広告	標識利用広告	その他	合 計
申 請	147件	1件	1件	2件	3件	154件

4 長期優良住宅の普及に関する法律

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の普及を促進するため「長期優良住宅の普及に関する法律」に基づき認定を行っています。

本規定に基づく認定件数は、次のとおりです。

なお、本認定により、住宅ローン減税等の税制上の優遇を受けることができます。

区 分	受 付	認 定
認 定 申 請	279 ^件	279 ^件
計 画 の 変 更	9	9
譲受人決定に伴う変更	54	54
地位承継の承認申請	1	1

5 建築物省エネ法・エコまち法

認定

建築物の新築等の計画について、建築物省エネ法に基づき、建築物のエネルギー消費性能が一定の水準(誘導基準)を満たしている場合及び、エコまち法に基づき、省エネ性能を持ち、かつ低炭素化に資する措置を講じていることなど一定の基準を満たしている場合に、それぞれ認定を受けることができます。

区 分	件 数
性能向上計画認定	0 ^件
低炭素建築物認定	2

8 款 1 項 2 目 建築指導費

道路後退整備事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額		10,000,000 円	決 算 額		6,998,880 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定 財 源	国庫支出金
不 用 額		3,001,120 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	8,993,000 円			地 方 債
	増 減 額	△1,994,120 円			そ の 他
	増 減 率	△22.17%		一 般 財 源	6,539,790 円
					459,090 円

<目的>

建築主等の理解と協力のもとに、建築行為に係る後退部分を道路として整備するため、市に寄付していただくことにより、安全で良好な市街地の形成と住環境の向上を図ることを目的とします。

<内容>

建築基準法第 42 条第 2 項道路の後退用地の寄付をした建築主等に対し、分筆登記に係る費用についての補助金の交付及び後退部分の工作物等の撤去に係る費用についての補助金の交付を行います。

<実績・成果等>

補助金交付実績

区 分	補助金交付件数	補助金交付総額	1件当たりの 平均交付額	対象面積
分筆手数料補助金	34 ^件	5,885,880 ^円	173,114 ^円	746m ²
工作物撤去補助金	8	1,113,000	139,125	

8 款 1 項 2 目 建築指導費

民間建築物耐震改修等促進助成事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額		3, 150, 000 円		決 算 額		3, 012, 000 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特 定 財 源	国庫支出金	1, 455, 000 円
不 用 額		138, 000 円				県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	2, 117, 000 円				地 方 債	
	増 減 額	895, 000 円				そ の 他	
	増 減 率	42. 28%				一 般 財 源	1, 557, 000 円

<目的>

旧耐震基準で建築された住宅、一定規模以上で多数の者が利用する民間建築物の耐震診断・耐震改修工事及び地震等で倒壊する恐れのある危険なブロック塀等の改修工事に対して補助金を交付し、建築物の耐震化を促進するとともに、災害に強いまちづくりを推進します。また、民間建築物の吹き付けアスベスト含有調査に対して補助金を交付し、生活環境の保全を図ることを目的とします。

<内容>

昭和 56 年 5 月 31 日以前の旧耐震基準で建築確認を取得し建築された、区分所有共同住宅、民間特定既存耐震不適格建築物及び平成 12 年 5 月 31 日以前に建築確認を取得し建築された木造戸建て住宅の耐震診断・耐震改修工事に要した費用の一部を補助します。民間建築物に施工された吹き付けアスベストなどであるおそれのあるものについて、含有調査を実施する費用を補助します。道路に面する危険なブロック塀などの撤去費用の一部を補助します。

<実績・成果等>

1 無料耐震診断件数

区 分	建築士会との協働事業 (狭山市わが家の耐震リフォーム相談)件数
木 造 戸 建 て 住 宅	11件

2 補助金交付実績

区 分	補助金交付件数	補助金交付総額	1件当たり平均交付額
木 造 戸 建 て 住 宅 耐 震 診 断 補 助 金	3件	150,000円	50,000円
木 造 戸 建 て 住 宅 耐 震 改 修 工 事 補 助 金	2	600,000	300,000
危 険 ブ ロ ッ ク 塀 等 改 修 事 業 補 助 金	15	2,262,000	150,800

8 款 1 項 3 目 国土調査費

地籍調査事業

(建設総務課)

決算事項別明細書 265 ページ

予 算 現 額		36,897,000 円	決 算 額			32,940,244 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特 定	国庫支出金	
不 用 額		3,956,756 円			県 支 出 金	11,389,500 円
前 年 度 比 較	決 算 額	32,871,548 円		財	地 方 債	
	増 減 額	68,696 円		源	そ の 他	
	増 減 率	0.21%			一 般 財 源	21,550,744 円

<目的>

土地に関する基礎情報を明確にし、正確な地図や台帳を作成することで、土地に関するトラブルの防止や土地取引の円滑化、公共事業の推進、災害復旧などに役立っています。

<内容>

国土調査法に基づき土地の所有者、地番、地目の調査や境界の位置と面積の測量を行い、その結果を地籍図と地籍簿としてまとめ、法務局に送付することで登記簿に反映されます。

<実績・成果等>

調査地区名	調査計画面積	事業面積	完了面積	進捗率
狭山第59・60	40.86km ²	0.10km ²	36.66km ²	89.72%

8 款 2 項 1 目 道路橋りよう総務費

道路橋りよう管理事業

(建設総務課)

決算事項別明細書 267 ページ

予 算 現 額		12,757,000 円	決 算 額		10,767,904 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		1,989,096 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	9,479,458 円			地 方 債
	増 減 額	1,288,446 円			そ の 他
	増 減 率	13.59%		一 般 財 源	10,767,904 円

<目的>

道路及び水路の資産管理を行います。

<内容>

道路法に基づく市道認定、廃止及び変更手続、道路及び水路の管理や処分等を行います。また、埼玉県屋外広告物条例の規定に違反して掲出されている広告物等の簡易除却を行います。

<実績・成果等>

1 不用道水路敷地の売り払い

道 路 敷 地		水 路 敷 地		合 計	
件数	面積	件数	面積	件数	面積
2 件	25.32 m ²	4 件	120.70 m ²	6 件	146.02 m ²

2 違反屋外広告物の簡易除却枚数

は り 紙	は り 札	立 看 板	広 告 旗	合 計
0 枚	33 枚	0 枚	0 枚	33 枚

8 款 2 項 1 目 道路橋りよう総務費

道水路台帳整備事業

(建設総務課)

決算事項別明細書 267 ページ

予 算 現 額		27,102,000 円	決 算 額		26,879,600 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定 財 源	国庫支出金
不 用 額		222,400 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	23,213,300 円			地 方 債
	増 減 額	3,666,300 円			そ の 他
	増 減 率	15.79%		一 般 財 源	26,879,600 円

<目的>

道路法に基づき毎年度、道路の延長や面積などの調査を行い、時点修正した道路台帳を作成し、地方交付税算定の基礎資料とするものです。

<内容>

道路の新設・改良、地籍調査、境界査定等で境界が確定した道路について、道路台帳の加除、修正を行い、閲覧に供します。

<実績・成果等>

道路台帳については、本年度に新規路線として台帳を整備した 13 路線、区域変更された 8 路線の合計 21 路線、約 2.3 キロメートルについて、測量及び図面の作成を実施しました。これにより集計された、4,517 路線、約 860 キロメートルを基に、地方交付税算定資料を作成しています。

また、作成した台帳を道路管理システムへ取り込み、窓口業務の対応にも活用しています。

内訳表

地区	道 路 台 帳					
	新 規 認 定		区 域 変 更		合 計	
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長
幹線			1 路線	36.00 ^m	1 路線	36.0 ^m
入間川	1 路線	141.58 ^m	2	76.40	3	217.98
入曽	6	751.15	1	192.90	7	944.05
堀兼	2	187.54	2	140.70	4	328.24
奥富						
柏原						
水富	4	489.82	2	326.30	6	816.12
新狭山						
狭山台						
合計	13	1,570.09	8	772.30	21	2,342.39

8 款 2 項 2 目 道路維持費

道路維持補修事業

(道路維持課)

決算事項別明細書 267 ページ

予 算 現 額		443, 607, 000 円	決 算 額			438, 422, 423 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特 定	国庫支出金	
不 用 額		5, 184, 577 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	344, 262, 946 円			地 方 債	
	増 減 額	94, 159, 477 円			そ の 他	315, 512, 627 円
	増 減 率	27. 35%			一 般 財 源	122, 909, 796 円

<目的>

市道について、安全性の確保や道路環境の保全を図ります。

<内容>

道路の不具合箇所の修繕や道路施設の維持管理を行います。また、狹山市道路施設等包括的民間管理業務により維持管理の効率化を図ります。

<実績・成果等>

1 修繕実施状況

区 分	件 数	需用費(道路修繕料)
道路修繕	110 件	162,023,400 円

2 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
道路修繕工事	5 件	26,147,000 円	353.4m

3 業務委託実施状況

区 分	件 数	委 託 料
道路等清掃業務	13 件	11,380,423 円
浸透井等清掃業務	2	2,101,000
狹山市道路施設等 包括的民間管理業務	1	180,162,400
合 計	16	193,643,823

4 道路占用許可

電柱・ 電話柱	街灯柱	諸 管 埋 設				看板・ 標識の類	足場・囲 い・敷鉄板	その他	合 計
		上水道	下水道	ガス管	地下ケーブル				
11 件	4 件	283 件	362 件	206 件	1 件	17 件	17 件	107 件	1,008 件

5 公共物(水路)使用許可

諸 管 埋 設			通路・ 出入口	電柱・ 電話柱	その他	合 計
上水道	下水道	ガス管				
8 件	29 件	5 件	109 件	4 件	38 件	193 件

6 施行承認

歩道切り下げ	舗装整備	ガードレール撤去	その他	合 計
10 件	120 件	4 件	56 件	190 件

8 款 2 項 2 目 道路維持費

道路修繕事業

(道路維持課)

決算事項別明細書 269 ページ

予 算 現 額		173, 700, 000 円		決 算 額		172, 486, 600 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特 定	国庫支出金	59, 050, 000 円
不 用 額		1, 213, 400 円				県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	158, 286, 700 円				地 方 債	98, 900, 000 円
	増 減 額	14, 199, 900 円				そ の 他	11, 000, 000 円
	増 減 率	8. 97%				一 般 財 源	3, 536, 600 円

<目的>

都市計画道路などの幹線市道や一般市道の舗装の破損が著しい路線を対象に、交通の安全性や円滑化を図ります。

<内容>

都市計画道路などの幹線市道や幹線道路などを補完する一般市道について、「狹山市道舗装修繕計画」に基づき、計画的に舗装修繕工事を行います。また、その他の一般市道も、計画的に修繕工事を行います。

<実績・成果等>

舗装計画修繕工事等を実施し、交通の安全性や円滑化を図りました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
道路修繕工事	4 件	14,312,100 円	361.4 ^m
舗装修繕工事	6	154,752,400	1,379.8
合 計	10	169,064,500	1,741.2

2 業務委託実施状況

区 分	件 数	委 託 料
調査業務	3 件	3,422,100 円

8 款 2 項 3 目 道路新設改良費

一般市道整備事業

(道路整備課)

決算事項別明細書 269 ページ

予 算 現 額		9,239,000 円		決 算 額		3,330,800 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特 定	国庫支出金	
不 用 額		5,908,200 円			財	県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	3,762,000 円			源	地 方 債	
	増 減 額	△431,200 円				そ の 他	
	増 減 率	△11.46%				一 般 財 源	3,330,800 円

<目的>

駅をはじめとする拠点及び都市計画道路を補完する一般市道の整備を実施し、安全性や利便性の向上を図ります。

<内容>

一般市道の拡幅の整備を計画的に実施します。

<実績・成果等>

一般市道の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
市道 B 第 313 号線外 1 線用地測量業務委託	大字南入曽・ 大字水野地内	3,330,800 円

8 款 2 項 3 目 道路新設改良費

道路改良事業

(道路整備課)

決算事項別明細書 269 ページ

予 算 現 額		15,060,000 円	決 算 額		13,888,396 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		1,171,604 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	43,912,154 円			地 方 債
	増 減 額	△30,023,758 円			そ の 他
	増 減 率	△68.37%		一 般 財 源	
					5,488,396 円

<目的>

身近な生活道路である一般市道について、安全で快適な道路環境を整備します。

<内容>

一般市道の拡幅や交差点の改良工事を計画的に実施します。

<実績・成果等>

通行車両や歩行者等の安全性、利便性の向上を図るため、次の事業を実施しました。

1 業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
市道 B 第 284 号線測量業務委託（その 2）ほか 2 件	大字南入曽・ 大字水野地内ほか	2,189,000 円

2 道路工事

工 事 名	工 事 場 所	請 負 額
市道幹第 8 号線道路改良工事	鵜ノ木地内	2,655,400 円

3 事業用地の取得

件 名	取 得 場 所	取 得 額
道路整備事業に伴う用地取得	鵜ノ木地内	26,604 円

4 事業用地の取得に伴う補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
道路整備事業に伴う物件補償	鵜ノ木地内	6,149,713 円

8 款 2 項 4 目 橋りよう維持費

橋りよう維持保全事業

(道路維持課)

決算事項別明細書 271 ページ

予 算 現 額		5,391,000 円	決 算 額		5,247,000 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特 定 財 源	国庫支出金
不 用 額		144,000 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	42,350,000 円			地 方 債
	増 減 額	△37,103,000 円			そ の 他
	増 減 率	△87.61%		一 般 財 源	2,500,000 円
					2,747,000 円

<目的>

市が管理する橋梁の点検調査や修繕及び更新等の維持管理を行います。また、重要な橋梁については「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、適切な維持・保全を図ります。

<内容>

橋梁の修繕工事を実施するとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、国庫補助金を活用し、計画的に修繕等を実施します。

<実績・成果等>

橋梁の安全性を維持するため、計画的に修繕を実施しました。

修繕実施状況

区 分	件 数	需用費(橋りよう修繕料)
橋りよう修繕	2 件	5,247,000 円

8 款 2 項 5 目 雨水対策費

水路維持管理事業

(道路維持課)

決算事項別明細書 271 ページ

予 算 現 額		27,994,000 円	決 算 額		26,691,404 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		1,302,596 円		県 支 出 金	10,670,000 円
前 年 度 比 較	決 算 額	46,089,360 円		地 方 債	
	増 減 額	△19,397,956 円		そ の 他	5,900,000 円
	増 減 率	△42.09%		一 般 財 源	10,121,404 円

<目的>

水路・調整池等の機能の保全を図ります。

<内容>

水路・調整池の除草、清掃作業及び水路やポンプ施設等の維持・修繕を実施します。

<実績・成果等>

水路と調整池等について、点検結果を基にした維持修繕の他に除草や清掃を行い、適切な機能・維持管理を図りました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
水路等修繕工事	4 件	5,915,800 円	126.5m

2 業務委託実施状況

区 分	件 数	委 託 料
水路等清掃業務	3 件	4,141,500 円
除草業務等	16	11,136,670
水中ポンプ等保守点検業務	2	2,106,500
合 計	21	17,384,670

8 款 3 項 1 目 都市計画総務費

都市計画管理事業

(都市計画課)

決算事項別明細書 273 ページ

予 算 現 額		30,385,000 円	決 算 額		30,005,847 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		379,153 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	3,923,120 円			地 方 債
	増 減 額	26,082,727 円			そ の 他
	増 減 率	664.85%		一 般 財 源	1,271,800 円
					28,734,047 円

<目的>

土地利用の適正な利用と保全を図るため、また、既成市街地における快適な居住環境の創出、都市施設の整備、良好な市街地の整備改善を図るため、都市計画法に基づき、一定の手続により決定又は変更すること及び都市計画の制限内容についての情報提供を行うことを目的とします。

<内容>

都市計画決定又は変更の事務手続、都市計画審議会の運営、土地利用調査等の実施、都市計画制限等の情報提供等を行います。

<実績・成果等>

1 都市計画手続

(1) 生産緑地地区の都市計画変更

生産緑地法第 10 条の規定に基づく買取り申出に伴い、同法第 14 条の規定に基づく行為制限を解除した地区について、都市計画変更を行いました。

実施状況

変更後の地区数及び面積 123 地区 約 26.88 ヘクタール

(2) 都市計画法第 53 条 建築の許可

都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内において建築物の建築をする場合は、許可申請が義務付けられています。

区 分	受 付	許 可
建 築 許 可 申 請	8件	8件

(3) 都市計画法第 58 条の 2 建築等の届出

地区計画の区域内において建築物の建築等をする場合は、届出が義務付けられています。

区 分	受 付	適 合
建 築 等 の 届 出	24件	24件

2 委託関係

都市計画基本図作成委託料 21,450,000 円

令和 2 年度に作成した都市計画基本図の更新を実施しました。

8 款 3 項 1 目 都市計画総務費

市街地整備管理事業

(市街地整備課)

決算事項別明細書 275 ページ

予 算 現 額		7,622,000 円	決 算 額		7,264,331 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定 財 源	国庫支出金
不 用 額		357,669 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	2,040,325 円			地 方 債
	増 減 額	5,224,006 円			そ の 他
	増 減 率	256.04%		一 般 財 源	7,264,331 円

<目的>

既成市街地や新市街地における土地利用の適正な利用と保全を図り、良好な住環境が形成できるよう計画を策定し、適正なまちづくりを推進します。

<内容>

国及び県からの情報をもとに、マンション管理等に関する調査や計画、各種協議会等に関する事業を推進します。また、要綱に基づき、入間川商店街地区の土地の合理的かつ健全な高度利用と安全で快適な歩行者空間の創出を図るため、補助金を交付します。

<実績・成果等>

1 住環境整備

狭山市における住宅困窮者に対する居住支援相談業務委託の実施

高齢者・障害者・ひとり親世帯などへ安定した住まいの確保に向けての支援をするため、賃貸住宅等入居相談会を実施しました。

狭山市における住宅困窮者に対する居住支援相談業務委託 230,076 円

賃貸住宅等入居相談会 相談件数 10 件(2 回実施)

2 負担金、補助及び交付金

入間川商店街地区の土地の合理的かつ健全な高度利用と安全で快適な歩行者空間の創出を図るため、歩行者空間に伴う壁面後退部分の整備に係る補助金を交付しました。

歩行者空間整備事業費補助金 2,222,000円(1件)

8 款 3 項 1 目 都市計画総務費

空家等対策推進事業

(市街地整備課)

決算事項別明細 275 ページ

予 算 現 額		13,567,000 円	決 算 額		12,963,054 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		603,946 円		財	県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	10,617,870 円		源	地 方 債
	増 減 額	2,345,184 円			そ の 他
	増 減 率	22.09%			一 般 財 源
					12,963,054 円

<目的>

空家等の適正管理を促進することにより、良好な生活環境の保全を図り、もって安全で安心なまちづくりを推進します。

<内容>

空家等対策の推進に関する特別措置法や狭山市空家等の適正管理に関する条例に基づき、空家等の適正管理を促進します。

<実績・成果等>

空き家の所有者や相続人が不存在の場合、裁判所へ相続財産清算人等の選任を申立てする際に必要となる予納金の納付を行いました。また、市内の空き家を除却する方へ、補助金を交付しました。

1 役務費

裁判所予納金 2,220,000 円(3 件)

2 負担金、補助及び交付金

狭山市空家等除却補助金 10,650,000 円(24 件)

8 款 3 項 2 目 都市基盤整備費

入曽駅周辺整備事業

(市街地整備課)

決算事項別明細書 277 ページ

予 算 現 額		797, 700, 000 円		決 算 額		785, 084, 091 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特 国庫支出金	3, 585, 000 円	
不 用 額		12, 615, 909 円			定 県支出金		
前 年 度 比 較	決 算 額	3, 851, 111, 875 円			財 地 方 債	48, 100, 000 円	
	増 減 額	△3, 066, 027, 784 円			源 そ の 他		
	増 減 率	△79. 61%			一 般 財 源	733, 399, 091 円	

<目的>

入間小学校跡地の利活用を中心に入曽駅周辺の利便性及び安全性を高め、新たな拠点整備を図ります。

<内容>

入間小学校跡地の利活用を中心に民間活力を活用した公募型プロポーザルによる利活用事業の実施、駅前広場やアクセス道路、東西自由通路及び橋上駅舎の整備など、入曽駅周辺の活性化に資する新たな拠点整備を図ります。

<実績・成果等>

入曽駅東口土地区画整理事業において、出来高確認測量を実施し換地処分を行いました。また、入曽駅東西自由通路及び橋上駅舎の整備、旧駅舎の解体工事等に係る負担金を支出しました。

8 款 3 項 3 目 街路事業費

狭山市駅加佐志線整備事業

(道路整備課)

決算事項別明細書 279 ページ

予 算 現 額		234,400,000 円	決 算 額		234,209,771 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	25,950,000 円
不 用 額		190,229 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	447,443,936 円		地 方 債	185,600,000 円
	増 減 額	△213,234,165 円		そ の 他	17,700,000 円
	増 減 率	△47.66%		一 般 財 源	4,959,771 円

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を実施し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの延長約 930 メートルの区間について、整備を推進します。

<実績・成果等>

狭山市駅加佐志線の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
市道幹第 90 号線境界設置業務委託	入間川地内	1,870,000 円

2 道路工事

工 事 名	工 事 場 所	請 負 額
市道幹第 90 号線道路築造工事(第 2 工区)ほか 5 件	入間川地内ほか	227,448,300 円

3 事業用地の取得に伴う補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
道路整備事業に伴う物件補償	入間川地内	4,891,471 円

8 款 3 項 3 目 街路事業費

入間川入曽線整備事業

(道路整備課)

決算事項別明細書 279 ページ

予 算 現 額		40,400,000 円	決 算 額		39,061,202 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特 定 財 源	国庫支出金
不 用 額		1,338,798 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	8,624,000 円			地 方 債
	増 減 額	30,437,202 円			そ の 他
	増 減 率	352.94%		一 般 財 源	4,000,000 円
					35,061,202 円

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を充実し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

狭山都市計画道路整備計画に基づき、狭山市駅加佐志線整備事業の進捗に併せて、道路ネットワークの連続性をもたせるよう、入間川入曽線(市道幹第 94 号線・整備延長約 300 メートル)について整備を推進します。

<実績・成果等>

入間川入曽線の整備事業を図るため、次の事業を実施しました。

業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
市道幹第 94 号線道路詳細設計業務委託ほか 3 件	入間川地内ほか	38,970,800 円

8 款 3 項 5 目 緑地保全費

緑地保全管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 279 ページ

予 算 現 額		26,246,000 円	決 算 額		26,176,200 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		69,800 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	27,126,520 円			地 方 債
	増 減 額	△950,320 円			そ の 他
	増 減 率	△3.50%		一 般 財 源	16,000,120 円
					9,891,680 円

<目的>

自然と市民生活との調和による良好な生活環境の増進及び、永続的な緑地の保全を図ります。

<内容>

保存樹木を指定し、管理費の一部として助成金を交付します。また、公有地化したふるさとの緑の景観地内の平地林、柏原地区他の斜面緑地について、除草、剪定、枯損木処理等の維持管理を行います。

<実績・成果等>

緑の啓発を図るとともに、都市化の進む中で緑地の保全を目的として、保存樹木の管理費の一部を助成しました。

区 分	本 年 度 末 指 定 数 量	本年度中の指定の増減		助 成 対 象 数 量 (10 月 1 日基準日)	助 成 金 額
		指 定	解 除		
保 存 樹 木	115 本	0 本	3 本	115 本	253,000 円

8 款 3 項 6 目 公園費

公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 281 ページ

予 算 現 額		279,032,000 円		決 算 額		276,016,498 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特 定 財 源	国庫支出金	29,000,000 円
不 用 額		3,015,502 円				県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	228,547,275 円				地 方 債	
	増 減 額	47,469,223 円				そ の 他	23,086,049 円
	増 減 率	20.77%				一 般 財 源	223,930,449 円

<目的>

公園を安全で安心して快適に利用できるようにします。

<内容>

公園施設等の維持管理を行います。

<実績・成果等>

1 公園の維持管理

都市公園をはじめ街区公園、河川敷公園は 199 カ所であり、市の維持管理対象面積は 1,385,564.69 平方メートルとなっています。

2 運動施設等の利用状況

スポーツ施設は、市民の体力づくり、健康づくりの場として利用されています。

[利用状況]

有 料 施 設 名		施設数	利用可能 回 数	利用回数	利用人数	利 用 率
新 狭 山 公 園	テニスコート	4	8,146 回	5,903 回	26,401 人	72.47%
	野 球 場	1	1,815	635	13,343	34.99
狭 山 台 中 央 公 園	テニスコート	3	3,057	1,636	8,555	53.52
	野 球 場	1	1,150	344	6,370	29.91
上 奥 富 運 動 公 園	野 球 場	2	2,222	833	18,961	37.49
	コンビネーション グ ラ ウ ン ド	4	4,757	1,316	29,508	27.66
堀 兼 ・ 上 赤 坂 公 園	多目的グラウンド	1	2,109	862	26,817	40.87
鵜 ノ 木 運 動 公 園	テニスコート	3	2,995	589	2,690	19.67
	野 球 場	2	2,041	524	10,794	25.67

〔利用状況〕

無 料 施 設 名		施 設 数	利用可能 回 数	利用回数	利 用 人 数	利 用 率
広瀬河川敷 公 園	野 球 場	1	1,410 回	305 回	6,706 人	21.63%
	少 年 野 球 場	1	1,338	152	2,516	11.36
	ソフトボール場 兼 サ ッ カ ー 場	2	3,040	1,118	45,388	36.78
	ソフトボール場 兼 少年サッカー場	1	1,520	657	30,280	43.22
	少 年 サ ッ カ ー 場	1	1,507	456	29,214	30.26
柏原河川敷 公 園	サ ッ カ ー 場	2	3,262	1,364	29,838	41.81
	多 目 的 広 場	1	1,631	994	20,400	60.94
	少 年 野 球 場	1	1,581	594	22,573	37.57
入 曽 多 目 的 広 場	テ ニ ス コ ー ト	6	6,034	2,218	5,754	36.76
	ソフトボール場	1	1,001	96	1,239	9.59
	狭山・入曽パーク	1	4,170	1,848	3,822	44.32
下 奥 富 運 動 公 園	少 年 サ ッ カ ー 場	1	1,623	839	32,010	51.69
	ソフトボール場	2	3,262	842	6,014	25.81
	野 球 場	1	1,601	830	18,509	51.84

3 委託料

- (1) 市内各公園の除草・清掃等管理委託料 99,932,660 円
(うちナラ枯れ対策に係る委託料 3,410,000 円)
- (2) 新狭山公園ほか4公園指定管理料 61,740,000 円

4 工事請負費

- (1) 狭山台中央公園トイレ新築工事 43,758,000 円
- (2) 広瀬河川敷公園遊具修繕工事 1,985,500 円

8 款 3 項 6 目 公園費

智光山公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 283 ページ

予 算 現 額		227,973,000 円	決 算 額		227,927,000 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金
不 用 額		46,000 円			県 支 出 金
前 年 度 比 較	決 算 額	256,367,015 円			地 方 債
	増 減 額	△28,440,015 円			そ の 他
	増 減 率	△11.09%		一 般 財 源	227,927,000 円

<目的>

智光山公園全体のスケールメリットを活かした効率的な管理業務を指定管理者が実践することで、智光山公園及び公園内の公の施設における人員配置や維持管理業務の効率化による管理運営経費の縮減が期待できます。

<内容>

智光山公園内のみどり公園課が所管する施設（智光山公園の園地、テニスコート、こども動物園、都市緑化植物園、釣場）の管理運営業務を指定管理者が行います。

<実績・成果等>

1 運動施設等の利用状況

(1) テニスコート

テニススクールを開催し、サービス向上と利用率向上に努めました。

[利用状況]

施 設 数	総 供 用 日 数	利用可能回数	利 用 回 数	利 用 人 数	利 用 率
16	359 日	43,583 回	22,789 回	104,404 人	52.29%

(2) 都市緑化植物園

緑の相談所は、都市緑化植物園の中核施設として、緑化に関する指導、相談及び展示会、更に各種講習会を開催し、市民の緑化意識の高揚と緑化技術の普及及び向上を図りました。

[開催状況]

区 分	件数、回数等	参加者数等	内 容
緑 化 相 談	243 件	243 件	育て方、増やし方、肥料、害虫等について
展示会の開催	14 回	25,631 人	四季折々、テーマごとの植物を毎月展示
講習会の開催	13	199	バラ、アジサイ、クリスマスローズ等の育成講座
イベントの開催	18	6,417	四季折々の植物に触れる体験イベント

(3) こども動物園

日常的に自然や動物に親しむことのできる場として、動物展示の充実を進めました。

開園日は313日、来園者は176,841人でした。

〔開催状況〕

区 分	回 数	参 加 者 数	内 容
イベントの開催	118 回	29,484 人	情操を育む動物体験を多数実施

(4) キャンプ場

〔利用状況〕

利用者数は、4,953 人でした。

区 分	施 設 数	総 供 用 日 数	総 供 用 回 数	利 用 回 数	利 用 率
キャンプサイト	8	333 日	2,664 回	549 回	20.61%
オ ー ト キャンプサイト (一 般)	3	333	999	233	23.32
オ ー ト キャンプサイト (犬 同 伴 可)	2	333	666	236	35.44
ソ ロ キャンプサイト	20	333	6,660	718	10.78
宿 泊 棟 1 号 棟	1	333	333	163	48.95
宿 泊 棟 2 号 棟	1	333	333	132	39.64

(5) 釣場

開場日数は 312 日、入場者数は 8,217 人でした。

〔開催状況〕

区 分	回数	参加者数	内 容
釣り大会の開催	3 回	186 人	ヘラ鮒釣り大会を実施

2 委託料

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 公園管理委託料 | 26,220,700 円 |
| (うちナラ枯れ対策に係る委託料 | 9,020,000 円) |
| (2) 智光山公園指定管理料 | 194,652,000 円 |

8 款 4 項 1 目 住宅管理費

既存市営住宅改修等事業

(市街地整備課)

決算事項別明細書 285 ページ

予 算 現 額		135,097,000 円	決 算 額		134,994,650 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	11,733,000 円
不 用 額		102,350 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	168,904,101 円		地 方 債	
	増 減 額	△33,909,451 円		そ の 他	123,261,650 円
	増 減 率	△20.08%		一 般 財 源	

<目的>

市営住宅及び共同施設を適正な状況で維持管理していきます。

<内容>

市営住宅 16 団地 807 戸の、経年劣化に係る修繕等の対応や入居者の入れ替わりに伴う空室改修工事、設備機器の交換等、住戸の維持管理及び建物の長寿命化のため、既存市営住宅改修等事業を実施します。また、植栽等の管理も計画的に推進します。

<実績・成果等>

1 需用費

施設修繕料 13,995,497 円 (56 件)

市営住宅入居者の住環境を確保するため、室内の漏水・配線不良及び給湯器の修理交換など小規模な緊急修繕を実施しました。

2 委託料

(1) アスベスト調査委託料 146,300 円

次年度の外壁改修工事にあたり、対象団地の外壁等のアスベスト調査を行いました。

(2) 植栽管理委託料 3,324,200 円 (5 件)

市営住宅の高木伐採等を実施しました。

(3) 階段昇降補助業務委託料 1,575,200 円

市営住宅狭山台さくら野団地エレベーター改修工事にあたり、工事期間中にエレベーターが使用できない期間において、入居者の階段昇降補助の委託を行いました。

3 工事請負費

(1) 外壁等修繕工事費 55,869,000 円

市営住宅東鶴ノ木団地外壁等改修工事を実施しました。

(2) 空室修繕工事費 13,526,513 円 (9 件)

空室となっている市営住宅の改修工事を実施しました。

(3) ガス漏れ警報器取替工事費 2,643,740 円

市営住宅東霞野団地外 10 団地のガス漏れ警報器取替工事を実施しました。

(4) 市営住宅団地各種修繕工事費 43,914,200 円

上ノ原団地集会所改修工事や狭山台さくら野団地エレベーター改修工事、ガス給湯器の修繕工事等を実施しました。